

ID	<<SYPID>>	患者氏名	<<ORIBP_KANJI>> 様
----	-----------	------	-------------------

直腸切除術を受けられる方へ

この計画書は診療の概要を記したものであり、状況に応じて変更することがあります。※何かご不明な点があったら、担当医又は看護師にお尋ねください。

年月日	2018年4月1日	4月2日		4月3日	4月4日 ~ 4月6日	4月7日 ~ 4月9日	4月10日
経過	入院	手術当日		手術1日後	手術2~4日後	手術5~7日後	退院日(手術8日後)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 感冒症状がなく、術前検査が終了している 手術の必要性が理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 発熱なく(37度以下)手術を受けることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 出血がない 痛みによる苦痛が少ない 安静が守れている 	<ul style="list-style-type: none"> 出血がない 痛みが調整できる 安静が守れている 	<ul style="list-style-type: none"> 出血がない 痛みが調整できる 体を動かすことができる 傷の腫れや赤みがない 腸の動きが良い 	<ul style="list-style-type: none"> 出血がない 発熱(37.5度未満)や検査値に異常がない 痛みが調整できている 食事摂取ができる 傷の腫れや赤みがない 排便が順調にある 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みが調整できる 発熱(37.5度未満)や検査値に異常がない 食事摂取ができる 傷の腫れや赤みがない 排便が順調にある
検査治療処置	<ul style="list-style-type: none"> 検査や採血  	<ul style="list-style-type: none"> 血栓予防の弾性ストッキングをはく 術衣を着る 洗腸 	<ul style="list-style-type: none"> 集学治療病棟で管理 手術室で胃チューブ挿入(鼻から胃に管を入れる) → 抜去 ドレーン挿入(お腹に管を入れます) 酸素マスク 	<ul style="list-style-type: none"> 状態安定後、一般病棟へ移動 採血とレントゲン(胸・腹)検査 → 抜去  	<ul style="list-style-type: none"> 傷の確認、ガーゼ交換 	<ul style="list-style-type: none"> 採血とレントゲン、腹部CT  ドレーン抜去(お腹の管) 	<ul style="list-style-type: none"> 採血
内服薬注射	<ul style="list-style-type: none"> 下剤液(14時頃) 下剤錠剤(寝る前) 		<ul style="list-style-type: none"> 点滴  	<ul style="list-style-type: none"> 中止 	<ul style="list-style-type: none"> 皮下注射(血栓予防) → 中止 	<ul style="list-style-type: none"> 中止 	<ul style="list-style-type: none"> 
活動安静度	<ul style="list-style-type: none"> 自由 		<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静 	<ul style="list-style-type: none"> ベッドの上半身を徐々にあげて座ることができます(90°まで)  	<ul style="list-style-type: none"> 許可あれば病棟内歩行可 		
食事	<ul style="list-style-type: none"> 昼食以降絶食 	<ul style="list-style-type: none"> 水分は朝6時まで 	<ul style="list-style-type: none"> 食べたり飲んだりできません  	<ul style="list-style-type: none"> 朝6時から飲水開始 		<ul style="list-style-type: none"> 術後5日目より流動食開始。以降、一日毎に胃腸食へ食事形態を変えます 	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> お臍のそうじ シャワー 洗髪 			<ul style="list-style-type: none"> 体を拭きます  		<ul style="list-style-type: none"> お腹の管が抜けら、シャワーできます  	
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 制限なし 		<ul style="list-style-type: none"> 手術室で尿管挿入 		<ul style="list-style-type: none"> 尿管を抜く トイレまで歩行 		
指導説明書類	<ul style="list-style-type: none"> 医師より手術の説明 入院時オリエンテーション、術前・術後の準備等 ネームバンド装着 	<ul style="list-style-type: none"> 何でもご相談ください  	<ul style="list-style-type: none"> 医師の術後説明  	<ul style="list-style-type: none"> ベッド上でもしっかり足を動かしましょう  	<ul style="list-style-type: none"> できる限り、歩行して血液の流れをよくしましょう  	<ul style="list-style-type: none"> 【退院基準】 食事を半分以上食べられる 排便コントロールができています 傷の腫れや赤みがない 発熱(37.5度未満)がない 【退院後の治療計画】 内服の継続 食事療養の継続 病理診断によって今後の方針を決定します。外来受診時に説明します 【退院後の生活について】 手術によりできたお腹の傷は、泡立てた石鹸を使って手のひらで優しく洗ってください。傷の痛みや腫れ、赤みや膿がないか毎日傷の観察をしましょう 手術の影響で、お腹の中で腸がくっついて食べ物の通りが悪くなる場合があります。嘔吐が続く場合や、強い腹痛を伴う嘔吐がある場合には早めに受診しましょう 規則正しい排便習慣をつけましょう。便に血が付着している場合には早めに受診しましょう 	<ul style="list-style-type: none"> 
リハビリ・その他		<ul style="list-style-type: none"> 御家族を集学治療病棟に案内 	<ul style="list-style-type: none"> 【連絡先】 徳島大学病院:088-631-3111 代表番号になっていますので、退院後は下記にお知らせください 外科外来:088-633-7136 				